

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017年23週 (6月1週 6/5~6/11)

2017年5月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、ヘルパンギーナ、梅毒、蚊媒介感染症対策の徹底

定点医療機関コメント

感染性胃腸炎、手足口病、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌感染症、マイコプラズマ感染症、インフルエンザ等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(35)、細菌性赤痢(1)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、デング熱(1)、レジオネラ症(3)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)、急性脳炎(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、後天性免疫不全症候群(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(9)

2017年5月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

咽頭結膜熱 (図1)

23週の定点当たり報告数は0.72、22週117人 23週131人(1.12倍)です。

【参考ページ】疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

23週の定点当たり報告数は2.41、22週444人 23週439人(0.99倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

手足口病 (図2)

23週の定点当たり報告数は1.36、22週191人 23週247人(1.29倍)です。

ヘルパンギーナ

23週の定点当たり報告数は0.18、22週18人 23週33人(1.83倍)です。

【参考ページ】疾患別ウイルス検出状況(速報)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

梅毒 (図3)

2017年23週までの累積報告数(診断週集計、6月14日現在)は111件(男73件、女38件)です。2016年23週までの累積報告数は97件(男75件、女22件)、2016年総報告数は258件(男188件、女70件)でした。全国の2017年22週までの累積報告数は2,096件です(2016年総報告数は4,559件)。

蚊媒介感染症対策の徹底について

蚊媒介感染症であるジカウイルス感染症やデング熱、チクングニア熱等が海外で多数発生しています。

訪日外国人数が増加している我が国においては、蚊のシーズン中は、海外から持ち込まれた蚊媒介感染症が日本国内で流行するリスクは高くなると考えられます。媒介蚊の発生源対策、防蚊対策が重要です。

【参考ページ】蚊媒介感染症(厚生労働省)

<http://www.nhlw.go.jp/stf/seisakuni tsuite/bunya/0000164483.html>

蚊媒介感染症対策の徹底について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000163941.pdf>

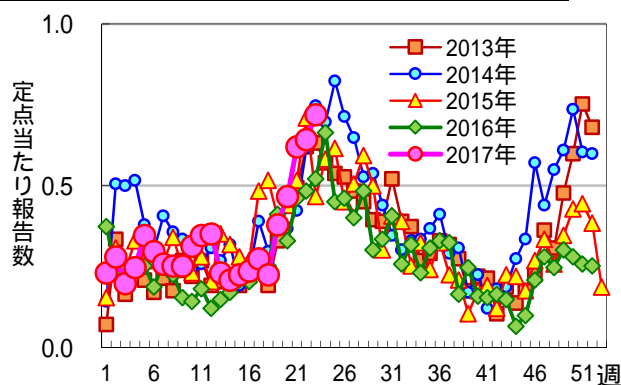


図1 咽頭結膜熱

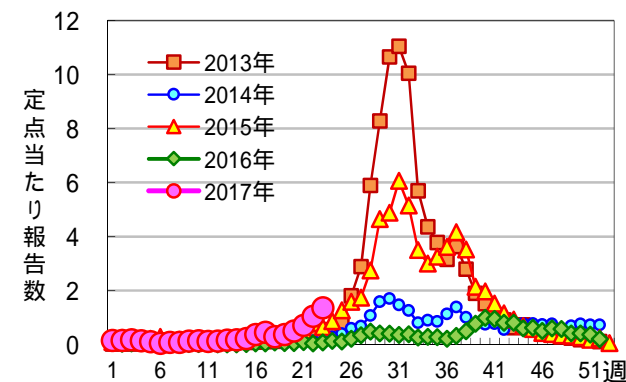


図2 手足口病

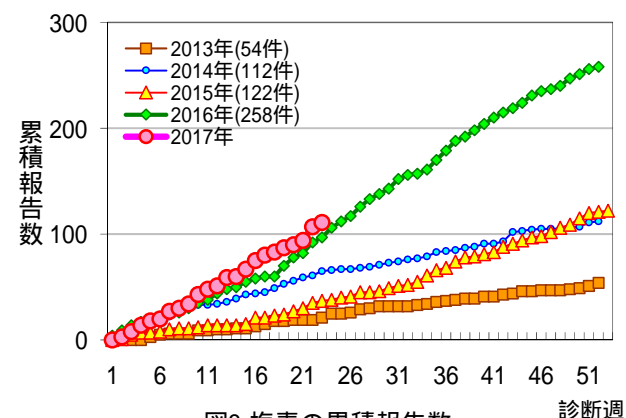


図3 梅毒の累積報告数

(愛知県、2013年-2017年、2017年6月14日現在)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

マイコプラズマ肺炎 6歳男
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
感染性胃腸炎流行続いています。
溶連菌感染症 5名
手足口病 1名
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
手足口病流行中 皮疹の強いものなし
アデノウイルス感染症散発
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
アデノウイルスが20件とかなり多かったです。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
83歳女 カンピロバクター、病原大腸菌O1検出
3歳女 病原大腸菌O1検出
10か月女 病原大腸菌O6検出
溶連菌、手足口病も見られます。
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

溶連菌感染症流行続いています。
その他手足口病、ヘルパンギーナ等
夏風邪がみられるようになってきました。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
溶連菌感染症 39名と増加
【豊明市 こども元気クリニック】
咽頭結膜熱と思われる症例が散見される。
【長久手市 医療法人スズムラ眼科医院】
hMPV 1歳男
【東郷町 ごとうこどもクリニック】
インフルエンザ陽性報告なし
入院ではRSV、ERではADV、そこそこあります。
【春日井市 春日井市民病院】
胃腸炎続発
手足口病増加
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
感染性胃腸炎が続いています。
【小牧市 志水こどもクリニック】
5歳男 カンピロバクター(+)
【半田市 医療法人林医院】
感染性胃腸炎成人で散発
【南知多町 医療法人大岩医院】
アデノウイルス 4名
ヒトメタニューモ 1歳女
感染性胃腸炎多いです。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA 陽性 4名
インフルエンザB陽性 11歳男
E.coli(O166)陽性 13歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかクリニック】
アデノ(咽) 5歳女 3歳女 2歳男
RSウイルスの乳児例 2例
手足口病散発
カンピロバクター 2歳女
【岡崎市 花田こどもクリニック】
マイコプラズマ感染症 10歳男 2歳男 3歳女
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
アデノ(+) 1歳女
【岡崎市 にいのみ小児科】
インフルエンザA型 2名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】

東三河地区

6歳女 10歳男 カンピロバクター腸炎
手足口病が時々います。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
インフルエンザB型 1名
【豊川市 豊川市民病院】
病原性大腸菌O126 10歳男 6歳男
病原性大腸菌O1 6歳男
病原性大腸菌O15 1歳女 4歳女
【豊川市 ささき小児科】
カンピロバクター 4名
マイコプラズマ 2名
アデノウイルス 3名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年6月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2017年23週報告数			2017年総計(1～23週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市(16保健所合計)	11	1	2	254	55	60
豊田市				26	6	7
豊橋市	2	1	1	33	6	12
岡崎市	2	1		19	5	5
一宮	4	1	1	50	20	19
瀬戸	2			43	3	14
半田	1		1	25	5	11
春日井	1		1	57	11	21
豊川	2	1		20	10	1
津島	3	1	2	36	7	7
西尾				13	7	1
江南	3	1	1	17	5	3
新城				1		
知多				26	9	7
清須				9	6	1
衣浦東部	4	1	2	34	9	14
合計	35	8	11	663	164	183

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	名古屋市	34歳	男	5/27	5/28	6/9	国内

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	60歳	女	5/31	6/1	6/6	O157、VT1(+)
2	半田	12歳	男	6/1	6/2	6/6	O157、VT1(+) VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊田市	39歳	男	デング熱	インドネシア

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊田市	53歳	男	肺炎型	タイ
2	津島	60歳	男	肺炎型	国内
3	衣浦東部	69歳	男	肺炎型	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	豊川	87歳	男	医療器具関連感染	国内	無
2	衣浦東部	85歳	女	手術部位感染	国内	無
3	衣浦東部	67歳	女	医療器具関連感染	国内	無
4	衣浦東部	83歳	男	以前からの保菌	国内	無

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	9歳	男	病原体不明	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	豊橋市	69歳	男	古典型

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	35歳	男	無症候性キャリア	性的接触	不明
2	豊田市	29歳	男	その他	性的接触	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	0歳	女	有	国内
2	岡崎市	59歳	女	不明	国内
3	江南	90歳	男	不明	国内

水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	津島	16歳	男	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	32歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	26歳	女	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	60歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	29歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	52歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	豊田市	75歳	女	晩期顕症	不明	国内
7	一宮	54歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	豊川	50歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	豊川	45歳	男	早期顕症	性的接触	国内

5月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2016～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2017年5月			2017年	2016年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	72 (22)	43 (4)	115 (26)	621 (168)	1,741 (445)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	9 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	14 (6)	5 (1)	19 (7)	38 (12)	160 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (2)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	3	5
	A型肝炎	4	0	4	4	5
	オウム病	0	0	0	1	1
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	0	2
	チクングニア熱	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	0	1	1	2	20
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	1	1
	レジオネラ症	11	2	13	32	97
五類 (22)	アメーバ赤痢	0	0	0	24	68
	ウイルス性肝炎	0	0	0	1	5
	内訳 B型	0	0	0	1	4
	内訳 その他	0	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	11	3	14	37	76
	急性脳炎	1	1	2	18	39
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	2	4	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2	19	26
	後天性免疫不全症候群	0	3	3	25	99
	内訳 無症候性キャリア	0	2	2	10	64
	内訳 AIDS	0	1	1	13	32
	内訳 その他	0	0	0	2	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	4	8	16	25
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	3	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	24	6	30	119	156
	水痘(入院例に限る。)	0	0	0	4	14
	梅毒	15	9	24	104	258
	内訳 無症候	2	4	6	31	69
	内訳 早期顕症	11	5	16	67	180
	内訳 晩期顕症	2	0	2	5	9
	内訳 先天梅毒	0	0	0	1	0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	5	11
	破傷風	0	0	0	1	5
	風しん	0	0	0	0	20
	麻しん	0	0	0	1	5
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	2
	総 計	158	79	237	1,088	2,890

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2017年5月			2017年 累計		2016年 総計			
	愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体			
				合計	合計	合計	合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	22	51	73	344	620	905	1,555
		女	44	21	65	276		650	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	16	10	26	95	235	231	633
		女	22	12	34	140		402	
	尖圭コンジローマ	男	4	13	17	80	121	207	313
		女	5	4	9	41		106	
淋菌感染症	男	12	26	38	170	195	483	554	
	女	2	2	4	25		71		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		81	24	105	435		957	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		13	2	15	59		102	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	1		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

グラフ総覧

2017年23週(6月5日～6月11日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年23週までの定点当たり報告数のうち、
本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

